

2011年10月14日発行

Vol.58

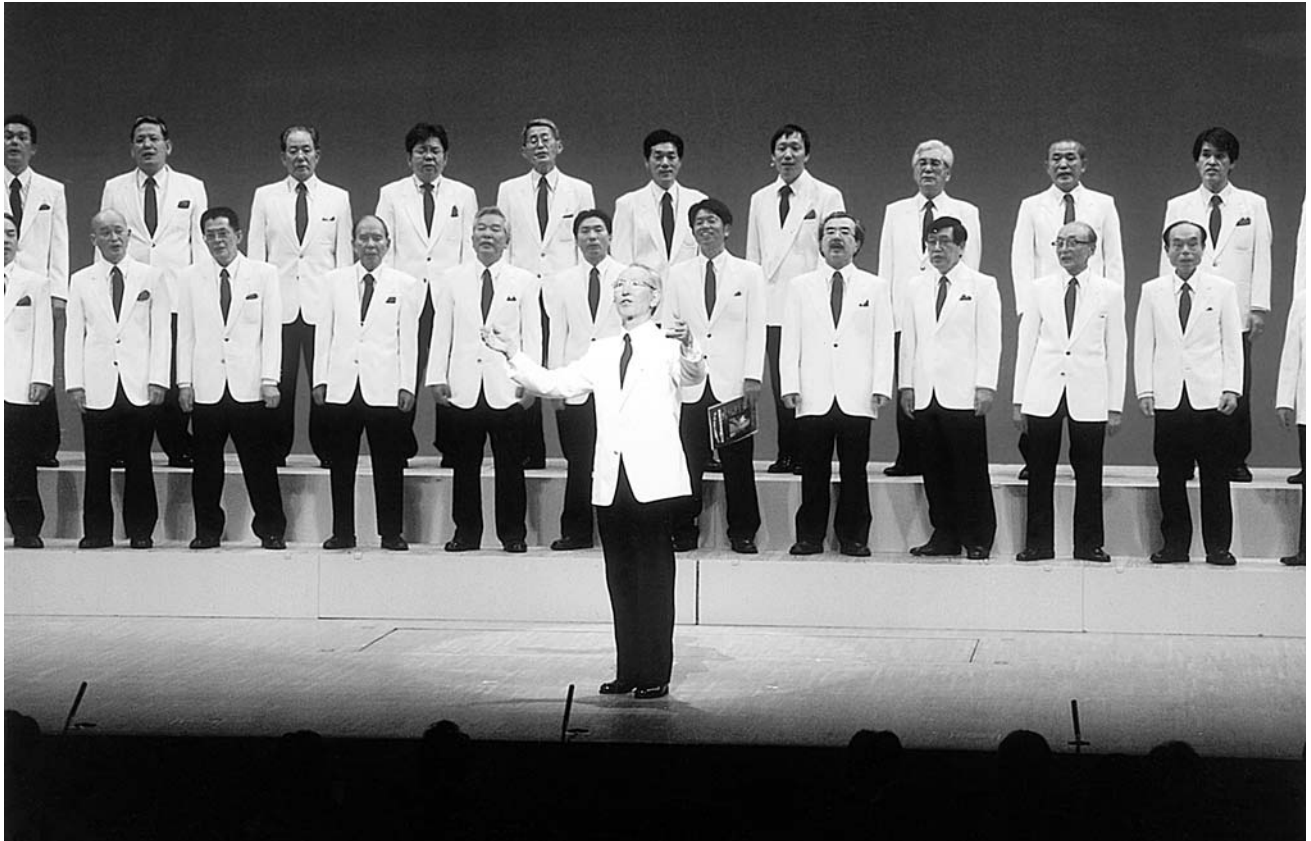
# ろ ん ど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5

NBC第3ビル2F

Tel.&amp;Fax095-820-1081

ホームページアドレス <http://www.n-rond.jp>メールアドレス [nma@onyx.dti.ne.jp](mailto:nma@onyx.dti.ne.jp)

西海メンネル・コールと共に（2010年11月21日、アルカスSASEBO）

## 美しい文字、ずば抜けた記憶力

私自身も含めて、おおよそ音楽関係者は、あまり文字がうまくない。個性的といえば聞こえはいいが、とある音楽関連の事務所では、解読不可能なメモを渡され、図書館の古文書の学芸員のような表情で仕事をしている事務局員もいる。しかし、時々信じられないくらい美しい文字を書く音楽家がいらっしゃる。しかも、毛筆の美しい文字を。今回登場する樋渡憲三先生は、そのお一人である。楽譜や資料を送っていただくと、茶封筒に見事に配列された文字を眺め、封を開けるのを思わずためらうほどである

高校の校長先生を務められ、合唱指導に情熱を燃やされ、佐世保を中心とした音楽活動に尽力されている樋渡先生について、今さらご説明はいらぬのかも知れない。しかし、私が率いる「木管アンサンブル・ポエ」とは、ちょっとしたご縁がある。平成10年にポエが、長崎県地域文化章をいただいた時、樋渡先生が指揮をされている「西海メンネル・コール」も受章され、当時の金子知事との昼食会をご一緒したことがある。メンネル・コールの

皆さんは、活動歴21年。ポエは、結成してまだ7年目のどちらかと言うと青臭いバンド。食事会では4人とも借りてきた猫よりも、ずっと小さくなっていった。

もうひとつ、樋渡先生とお話をしているとびっくりするのが、記憶力の良さである。特に人の名前は、ノートパソコン以上に正確に記憶されていて、「\*\*さんは、あの時何の曲を演奏して、その後どのような活動をしていて...」と言う情報が、すらすらと出てくる。私などは、今受け持っている学生の名前も、満足に覚えていないのに。指揮者のロリン・マゼールはニューヨークの電話帳を丸暗記できるそうだが、きっとそれと似た頭脳回路をお持ちなのだろう。音楽連盟設立当初から、樋渡先生には大変お世話になっている。佐世保には、アルカスという素晴らしいホールもあり、ジャズをキーワードにした音楽祭も活気を帯びてきた。これからも、精力的に若い世代の音楽家を数多く育てていただきたいと思う。何しろ先生の記憶回路は、まだまだメモリの余裕がたっぷりとおあるでしょうから。  
(文/堀内伊吹)